

臨床心理学 Clinical Psychology

薬：K1-16101MY、生命：K1-16101MS

素養科目 1、2、3 (薬)年／前・後期 1単位 選択科目

科目責任者 村上 弘子(非常勤講師)

■教育目的

臨床心理学は、さまざまなこころの問題について探求し、人の生き方を見出していく学問といえる。私たちのこころや人間関係のあり方を臨床心理学の視点で見つめてみると、時に問題とされる病や症状や悩みには、私たちに何かを知らせようとしてくれる可能性が秘められていることに気づかされる。本講義では、多様なこころの問題を取り扱うと同時に、人のこころについて探求し、ものの見方を養い、実生活や医療現場で自他が活かされる臨床心理学の知識とスキルを習得することを目的とする。【卒業認定・学位授与の方針:YD-④、YD-⑥、SD-④】

■学習到達目標

1. 臨床心理学の基礎知識を学び、人のこころについて多角的な視点を習得する。(知識、技能、態度)
2. 人の多様性について探求する習慣を身につける。(知識、技能、態度)
3. 医療人として、人と支え合うための関わり方や考え方を養う。(知識、技能、態度)

■準備学習（予習・復習）

予習：テーマに関連した最近の記事を調べてみる(20分以上)。

復習：レジュメにもう一度目を通し、内容について自分で調べてみる(30分以上)。

■授業形態

講義

■授業内容

No.	項目	授業内容	備考・SBOコード
1	ガイダンス	臨床心理学とは何か	
2	心理アセスメント	心理テストに見る私	A(3)-①-1～7
3	こころの葛藤、こころの防衛(1)	こころの構造、防衛機制	A(3)-①-1～9
4	こころの葛藤、こころの防衛(2)	コンプレックス、元型論	A(3)-①-1～9
5	こころと身体(1)	ストレスのメカニズム	A(3)-②-1～2
6	こころと身体(2)	ストレスコーピング	A(3)-②-1～2
7	こころの問題(1)	適応障害、PTSD	A(1)-①-1～7
8	こころの問題(2)	うつ病、双極性障害	A(1)-①-1～7
9	こころの問題(3)	LGBTQ+とは、当事者のこころ	A(2)-③-1
10	心理療法とカウンセリング(1)	心理療法・カウンセリングの基礎、役割 体験論的アプローチ	A(3)-①-1～9
11	心理療法とカウンセリング(2)	行動論的アプローチ、システム論的アプローチ	A(3)-①-1～9
12	心理療法とカウンセリング(3)	力動論的アプローチ① 精神分析	A(3)-①-1～9
13	心理療法とカウンセリング(4)	力動論的アプローチ② 分析心理学	A(3)-①-1～9
14	心理療法とカウンセリング(5)	力動論的アプローチ③ 分析心理学におけるイメージを用いたアプローチ	A(3)-①-1～9
15	まとめ	振り返りとまとめ	

■授業分担者

村上 弘子(非常勤講師)(No.1～15)

■課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

講義や課題に関する質問等を個別に受け付け、解説・説明をする。毎回の課題提出(40%)、及び期末レポート(60%)で総合評価を行う。

■教科書

必要な資料は配布する。

■参考書

講義中に適宜紹介する。